

愛あふれる イングリッシュガーデンに 想いを詰め込み30年

すべては女房のために…かな

香我美町山北でイングリッシュガーデンハウスを営む安岡賢之さんに、イングリッシュガーデンとの出会いなど話を聞きました。
(関連記事29ページ)

担当／広報編集委員 相原秀夫

きつかけは農業視察

「もともとこのイングリッシュガーデンは、営業するつもりで作ったんじゃないんですよ」そう言っていて、にこやかに話を切り出した安岡さん。「きつかけはね、昔、オランダに農業視察で行ったところ、道路からずっと自宅までの道を花で飾り、家の周りにもきれいな花壇を作ってたね、そういう風景に憧れてしまったんですよ。自分の庭にも作ってみようと思ったのが、そもそもで…。最初は、花の咲くミモザやハナミズキの木を中心に、そのうち、フラワーアレンジメントをやっていた女房に、材料になる花も作ってと言われ、作り始めました。ふたりで、イギリスへガーデン旅行などして、どんなガーデンにしていこうか、楽しみながら、続けてきましたね」

農業をするかたわら一日一回は花を眺め、お茶を飲み、週に一回は、花に囲まれた場所で食事を楽しみたい。そんな思いを少しずつ実現し、その癒やしに満ちた空間は、人から人へ口コミで広がり、多くの人が訪れるようになったそうです。

「このイングリッシュガーデンの庭作りを始めて30年。ガーデンハウスを開業して20年になり

ました」
居心地がいいのは、夫婦愛、家族愛から始まったガーデンだからだと思いました。

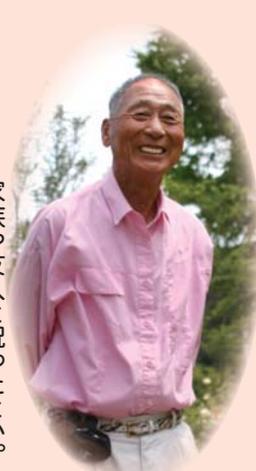
ガーデンへの想い

このイングリッシュガーデンにある花木は豊富で、花の咲く木は100種類、宿根の花も100種類、草や花を合わせると500種類くらいになるといいます。なかには、交配させたオリジナルも数多くあり、名もない花もあるとか。「ガーデンの手入れは大変ですね。毎日コツコツと世話をしないとダメですね。でも、普段の生活から離れた癒やしの別世界へ来てくださる方を招待したいという思いから、がんばっています」

そう言いつつ胸を張る安岡さんの気持ちを表した言葉を、ガーデンハウスの入り口に見つけることができました。『訪れる人に安らぎを 訪れる人に幸せを』

石に刻まれた言葉からも、訪れる人への、もてなしの気持ちを感じることができました。

愛あふれる話は続きます。結婚式を挙げるのができなかつた安岡さんは、奥さんに一度白いドレスを着せてあげたいと思いつき、ガーデンハウスの北側にローズガーデンを5年がかりで作り上げ、金婚式のお祝いを



▲安岡賢之さん

家族や友人と祝ったとか。

「女房もみんなも喜んでくれた次はダイヤモンド婚式だね、なんて言われてね。金婚式の時はおと10年も体が持つかなくなってたけど、もうあと4年くらいになってしまつて…。今ではバラを植えたし準備を始めたよ」

そう言いつつ、照れるように目を細くした安岡さんの愛情の深さに、男としてのかっこよさを感じました。

広がった人脈

「ガーデンハウスのおかげで、人脈はずっと広がってきましたね」本業は、みかん農家。ずっと自然栽培への取り組みをされている安岡さん。

「また、自然栽培は満足できるものになっていませんが、人脈のおかげもあり、色々な方にアドバイスをもらい、応援もしていただいています」

ガーデンハウスに集まる方々は、安岡さんの仕事への情熱、妥協しない姿勢に魅かれて、集まってくるのかもしれない。

皆さんもゆっくり花を眺め、心の充電をする時間を持つてみてはいかかでしょうか。

ちよっこり
お出かけの
のいち
あじさい街道

野市町西佐古
父養寺

野市町西佐古から父養寺の1.2kmの街道を19,000株のあじさいが美しく彩ります。

6月21日(日)までの毎週土・日曜日には、地元の人たちが運営する産直市「あじさいのいち」が開催され、地元採れたての新鮮野菜や田舎寿司、つきたてのお餅などを販売します。のんびりと歩いてみませんか？

6/14(日)は
午前9時から
餅つきを
開催します!



▶ 昨年の様子

広報紙
スマホで
広報を見よう
i広報紙アプリの
ダウンロードは
こちらから



《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.jp